

浅水 地域づくり 計画書

対象期間（5ヶ年計画）
平成26年度 ～ 平成30年度



浅水長谷山と北上川

（北上川が大きく蛇行したところが浅水）

**安心して暮らせる
元気なふるさとづくり！**

浅水コミュニティ運営協議会
（浅水ふれあいセンター）

目次

	1
浅水コミュニティ 三大事業	
第1章 浅水地域づくり計画の背景と目的	2～6
地域づくり計画策定の背景・目的・期間・活動と経緯	
日本の人口推移・浅水地区人口推移	
浅水地区世帯数推移・浅水小学校児童数推移	
中田町と浅水地区の高齢化率推移	
平成25年2月 住民アンケート結果	
浅水地区 10年後の課題	7
地域づくり計画策定活動実績	8～12
第2章 浅水地区の課題と『地域づくり計画』	13～17
『地域づくり計画』5ヶ年計画 一覧表	18
第3章 浅水『地域づくりプロジェクト』の推進	19
第4章 これからも継続する事業	19～23
地域連帯感を高める事業&生涯学習事業 1/4 ～ 4/4	
社会体育事業	
第5章 まとめ	24

浅水コミュニティ 三大事業（既存事業）



ふれあい運動会



ふれあい夏まつり



コミュニティまつり

第1章 浅水 地域づくり計画の背景と目的

1. 地域づくり計画策定の背景

平成17年4月の9町合併により行政が大きくなりましたが、同じ基準での地域づくりが出来なくなり、住民参加による地域づくりが必要となりました。登米市は平成24年4月に「登米市まちづくり基本条例」を制定いたしました。今、地域では、少子・高齢化など様々な課題を抱えており、その解決に向けて、「地域のことは地域で考え、地域自らの責任によって決める」という考え方を基本としています。

私たちの浅水地域は昭和46年旧自治省が進めた『モデルコミュニティ』を全国で16番目に指定され、宮城県では1番目に指定されました。これまで、コミュニティを基本とした地域活動を行っておりますが、「地域づくり計画策定」にも進んで取組み浅水地域の課題や目標を明確にし、地域の特性を生かしながら、地域を愛し心豊かに暮らせる地域を目指し『浅水地域づくり計画』を策定いたします。

2. 地域づくり計画策定の目的

地域の住民一人ひとりが、地域の現状と課題を認識し、地域で出来る事は地域で取組み課題解決をしながら、『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり！』を行います。

3. 地域づくり計画策定の期間

平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

4. 地域づくり計画策定の活動と経緯

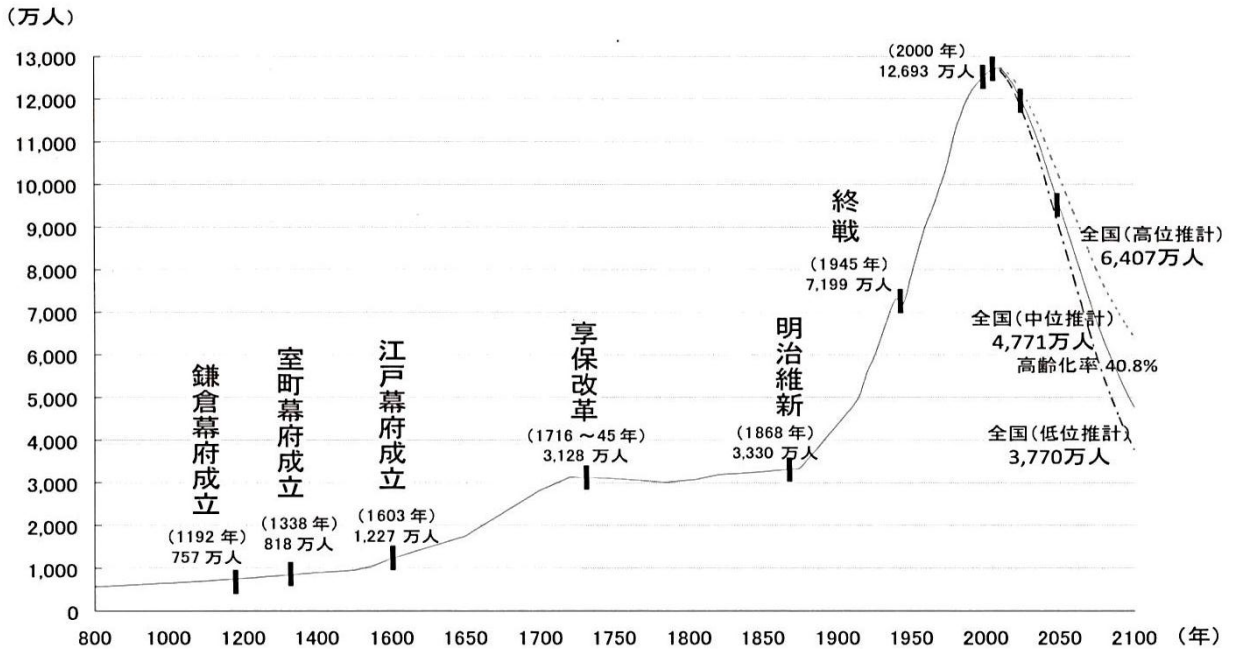
この計画は「浅水コミュニティ運営協議会」が主体で行いました。

- ・平成23年12月にコミュニティ40周年記念に向けて、10年後の地域課題アンケートを実施しました。
- ・平成25年1月に「地域づくり計画策定」を目的に全世帯10歳以上を対象に10年後の課題アンケートを行い、総人口2,577名中1,507名と58%の方から回答を頂き、これを基本データとしました。
- ・平成25年9月先進地視察研修で新潟県柏崎市への委員研修を行いました。
- ・平成25年11月ワークショップを各行政区から選出の委員とコミュニティ運営協議会委員等により行い、課題と地域で行うことを検討しました。
- ・総務部（各行政区区長）や行政区選出委員を中心に会議を開催して計画の策定を行いました。

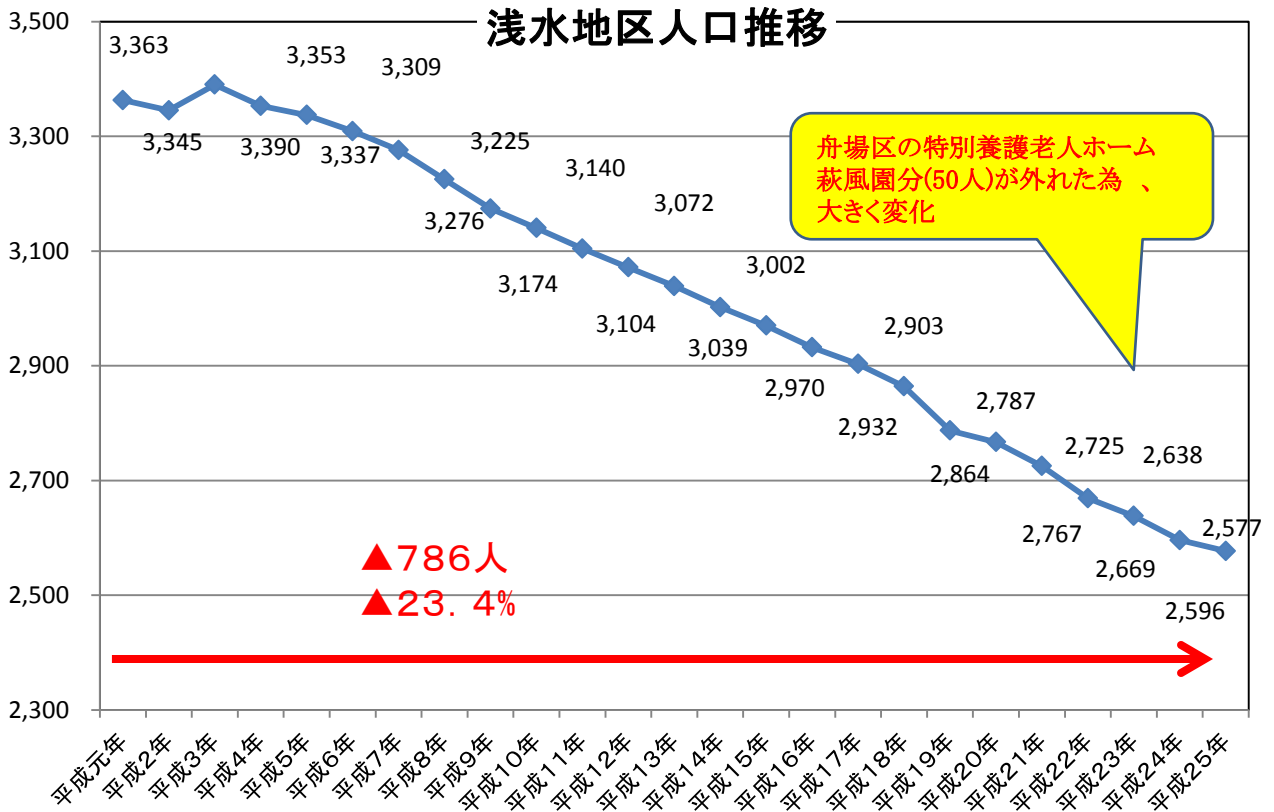
日本と浅水の現状

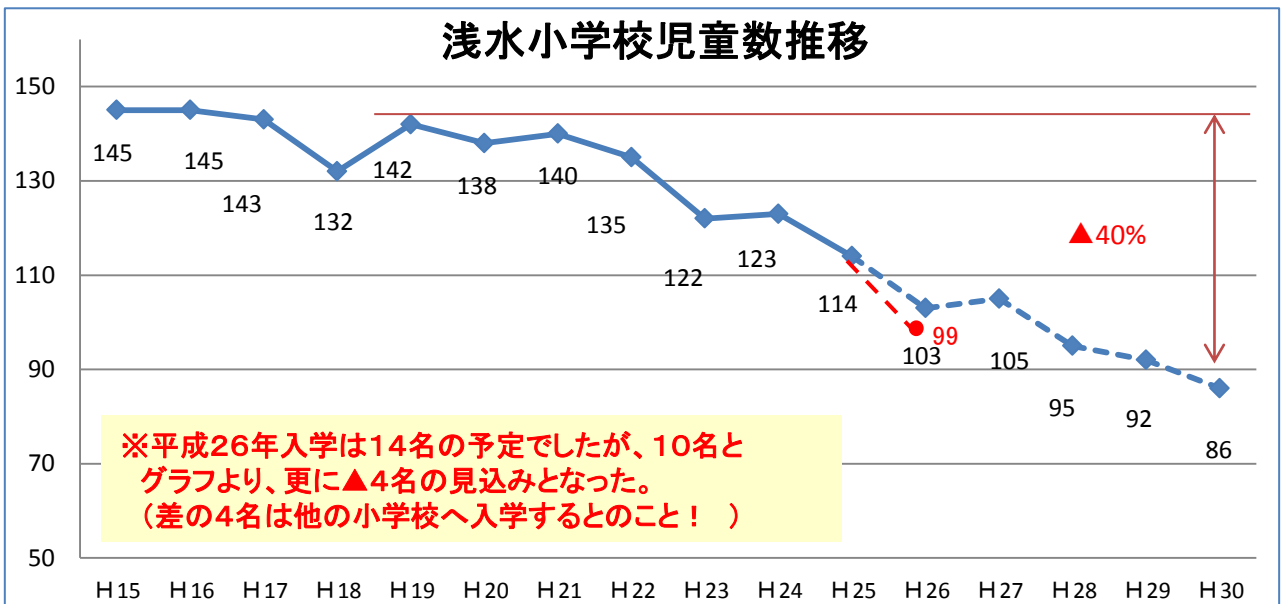
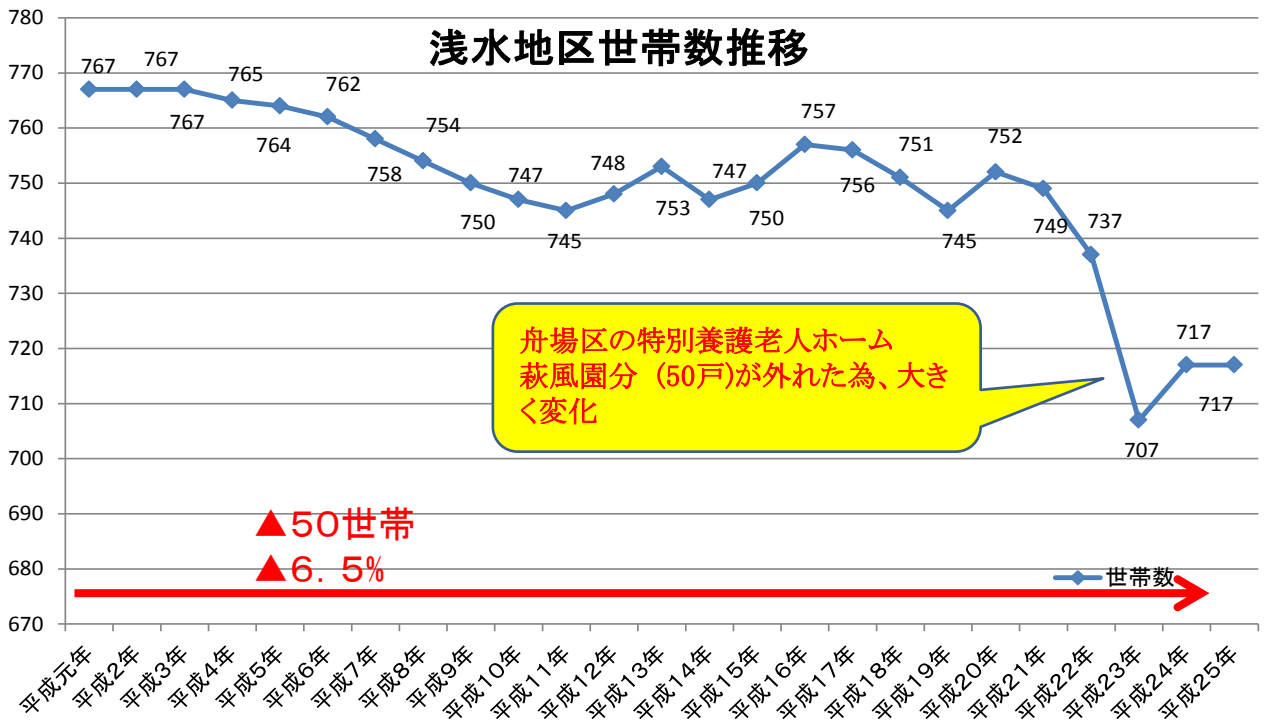
日本の人口推移

厳しさを増す日本社会(人口の長期的推移)



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布変動の長期時系列分析(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成。

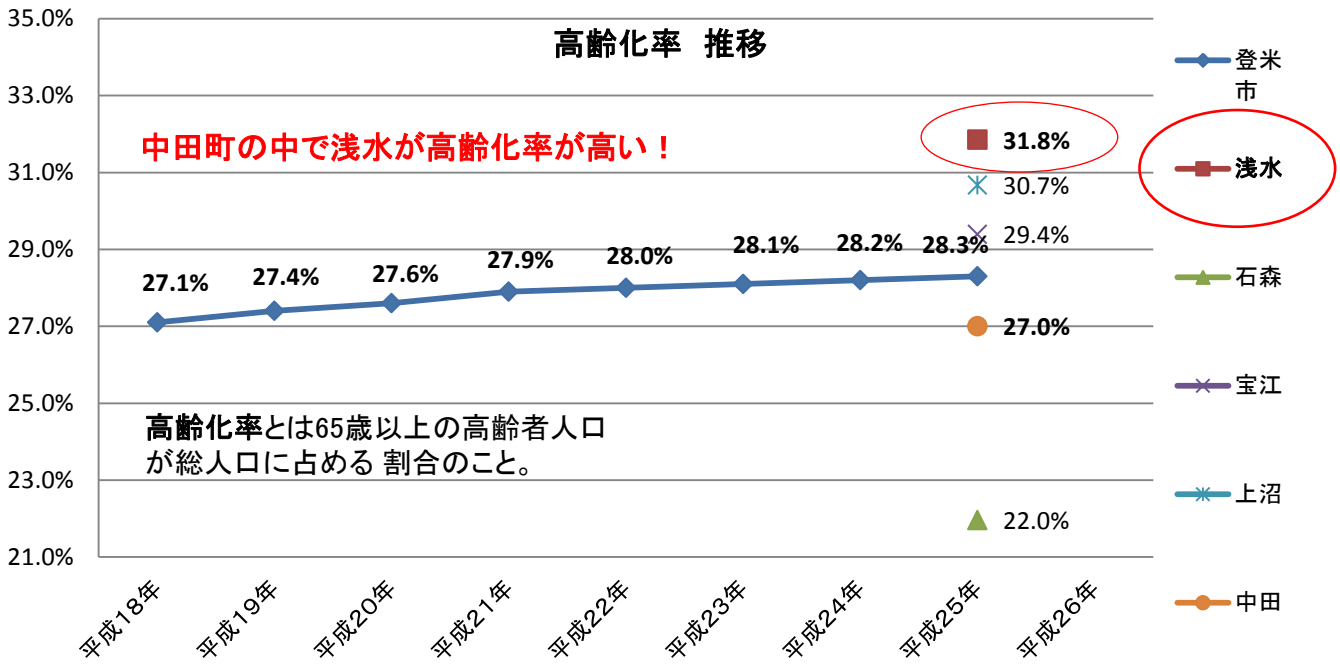




	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1年						25	16	21	14	21	18	14	17	11	12	14
2年							25	16	19	14	20	18	14	17	11	12
3年								25	15	20	15	20	18	14	17	11
4年									24	15	21	15	20	18	14	17
5年										26	25	15	21	15	20	18
6年											24	28	25	15	21	15
計	145	145	143	132	142	138	140	135	122	123	114	103	105	95	92	86

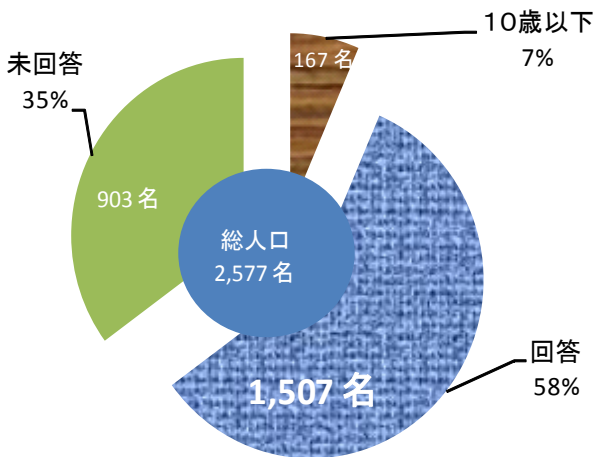
	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
浅水小学校児童数	145	145	143	132	142	138	140	135	122	123	114	103	105	95	92	86

中田町と浅水地区の高齢化率推移

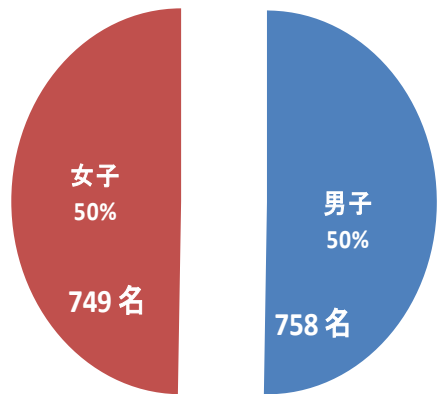


平成25年2月 住民アンケート結果

アンケート回答率

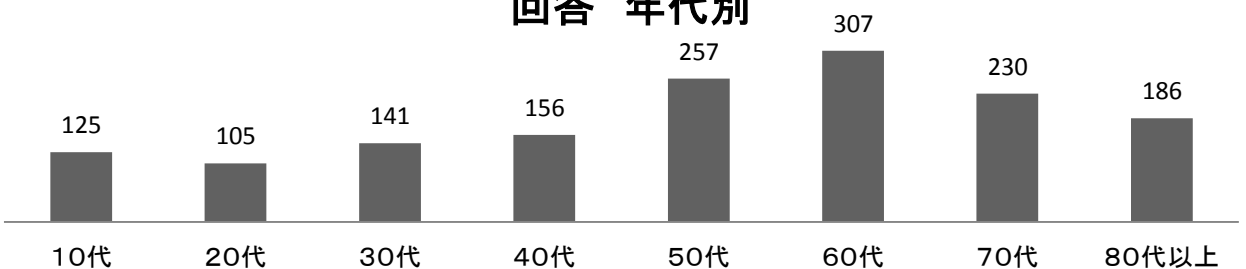


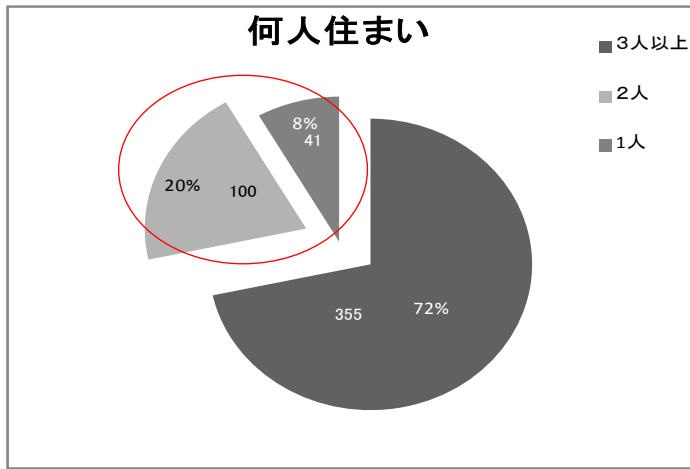
回答 男女比率



2013-2 地域住民アンケート結果

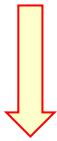
回答 年代別



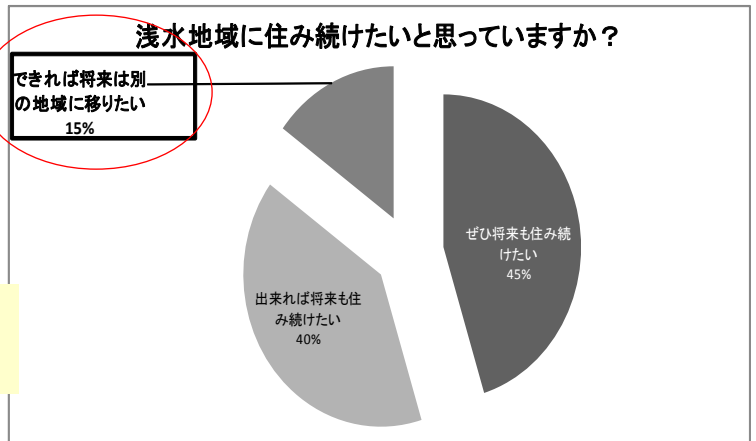


1~2人世帯の比率！28%

他に住みたいと思っている人

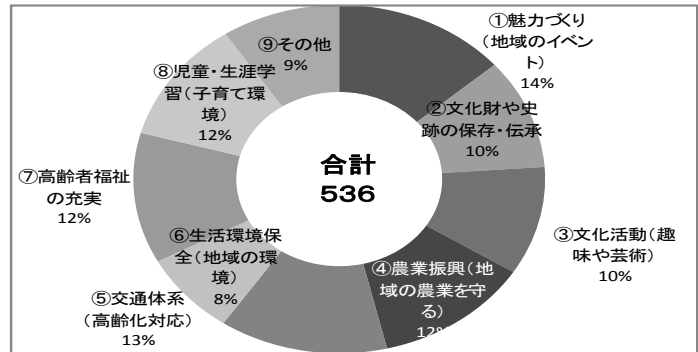


住みたい・住んで良かったと思える地域を目指したい！！



浅水の『地域づくり』住民希望

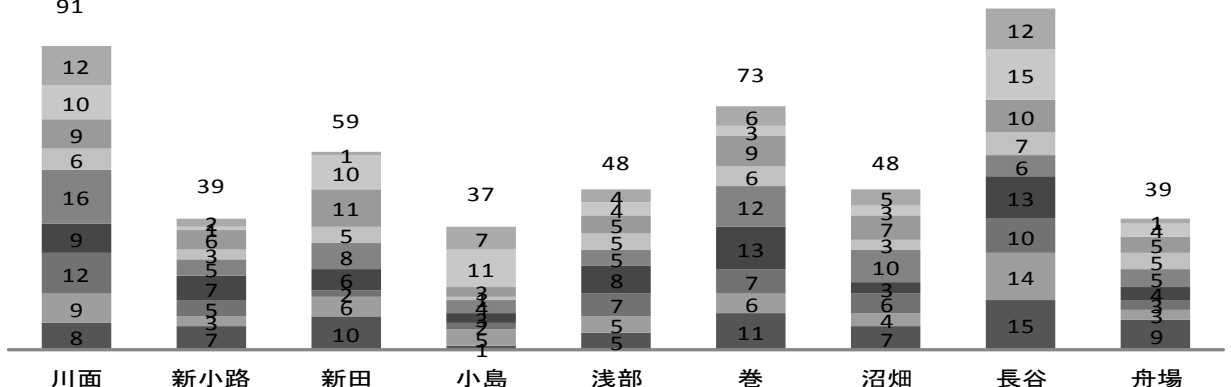
- ①魅力づくり(地域のイベント)
- ②文化財や史跡の保存・伝承
- ③文化活動(趣味や芸術)
- ④農業振興(地域の農業を守る)
- ⑤交通体系(高齢化対応)
- ⑥生活環境保全(地域の環境)
- ⑦高齢者福祉の充実
- ⑧児童・生涯学習(子育て環境)
- ⑨その他



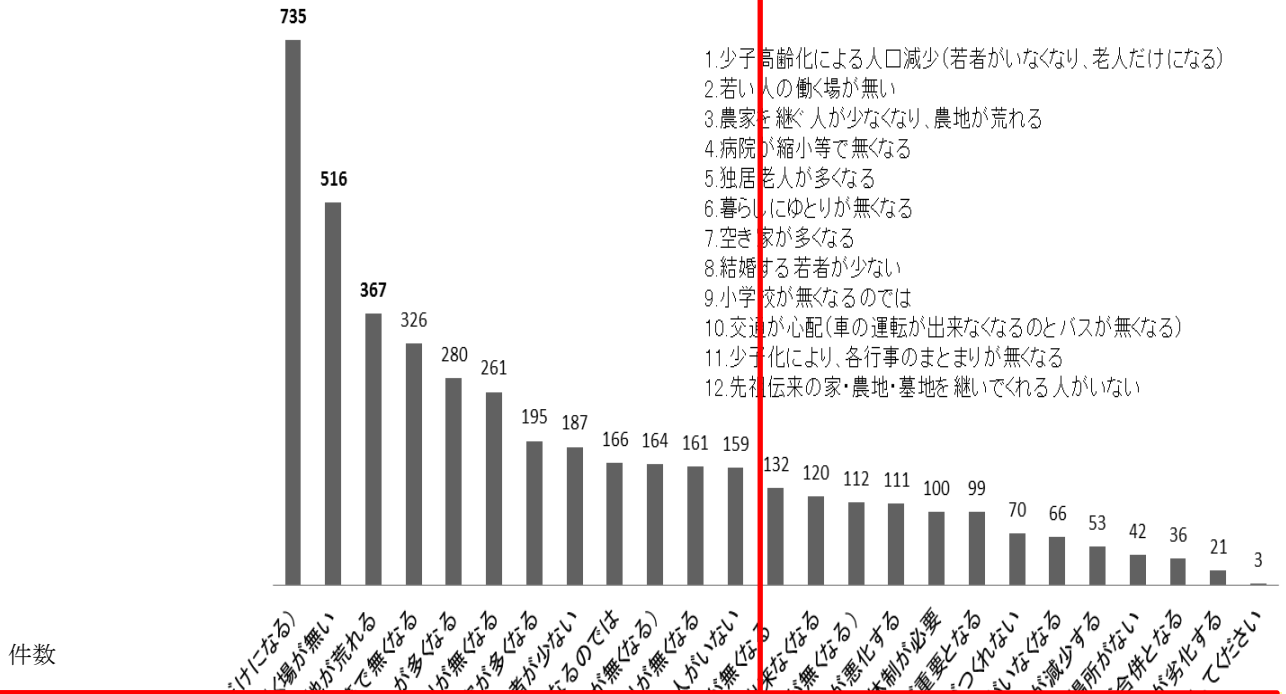
合計

91

102



浅水地区 10年後の課題



735 少子高齢化による人口減少(若者がいなくなり、老人だけになる)

516 若い人の働く場が無い

367 農家を継ぐ人が少なくなり、農地が荒れる

326 病院が縮小等で無くなる

280 独居老人が多くなる

261 暮らしにゆとりが無くなる

195 空き家が多くなる

187 結婚する若者が少ない

166 小学校が無くなるのでは

164 交通が心配(車の運転が出来なくなるのとバスが無くなる)

161 少子化により、各行事のまとまりが無くなる

159 先祖伝来の家・農地・墓地を継いでくれる人がいない

132 地域の商店が無くなる

120 集落の道路や水路等の草刈りが出来なくなる

112 近所付き合いが心配(コミュニケーションが無くなる)

111 介護の環境が悪化する

100 安心安全の地域防災体制が必要

99 自然エネルギーが重要となる

70 自分で食事をつくれな

66 民俗芸能の後継者がいなくなる

53 消防団員が減少する

42 老人のつどう場所がない

36 集落が合併となる

21 集会所等の施設が劣化する

3 その他お気づきの課題を記入してください

地域づくり 計画策定 活動実績

実施年月日	項 目	参加人数	参 加 者
2013/1/11	アンケート用紙全戸配布	10	総務部・事務局
2013/2/20	アンケート用紙 回収日	10	総務部・事務局
2013/4/18	アンケート 集計まとめ 3/5-4/12	18	事務局
2013/4/25	アンケート結果をふれあいセンターだよりで紹介	1	事務局
2013/6/17	地域づくり研修会 於: 迫町公民館	1	事務局
2013/6/22	地域づくり計画策定検討	12	総務部・事務局
2013/6/25	地域づくり計画策定の申請書提出	12	総務部
2013/7/10	地域づくり計画 担当者会議 於: 上沼ふれセン	2	事務局
2013/7/23	モデルコミュニティ事業調査 岐阜大学 山崎准教授	8	役員・事務局
2013/8/9	地域づくり計画策定検討	12	総務部・事務局
2013/9/11	地域づくり計画策定スケジュール検討	4	役員・事務局
2013/9/18	地域づくり計画策定 先進地視察に向けて・依頼書発行	12	総務部・事務局
2013/9/19	地域づくり計画策定 先進地視察の資料作成	1	事務局
2013/9/20	地域づくり計画策定 先進地視察の資料作成	1	事務局
2013/9/25	地域づくり計画策定 先進地視察 新潟県柏崎市	14	総務部・事務局・高橋支所長・佐藤マネージャー
2013/9/26	地域づくり計画策定 先進地視察 新潟県柏崎市	14	総務部・事務局・高橋支所長・佐藤マネージャー
2013/10/11	地域づくり計画策定検討	12	総務部・事務局
2013/11/8	ワークショップ①	31	地域づくり委員・事務局
2013/11/15	ワークショップ②	26	地域づくり委員・事務局
2013/12/24	地域づくり計画策定検討資料作成	1	事務局
2013/12/25	地域づくり計画策定検討資料作成	2	事務局
2013/12/26	地域づくり計画策定検討資料作成	3	事務局
2014/1/9	健康づくり講座 地域づくりへ向けてトライ事業	53	行政区5名・事務局
2014/1/15	地域づくり計画策定検討	10	総務部・事務局
2014/2/7	地域づくり計画策定検討 地域づくりプロジェクト	39	地域づくりPJ・事務局
2014/2/13	地域づくり計画策定検討	12	総務部・事務局
2014/2/26	地域づくり計画策定検討 地域づくりプロジェクト	32	地域づくりPJ・事務局
	計	353	

2013-9-25 ~ 9-26 先進地視察 新潟県柏崎市

指導 岐阜大学地域学部 准教授 山崎 仁朗 氏

視察先 中鯖石コミュニティセンターと柏崎市市民活動支援課



合言葉！は『百聞は一見に如かず』で視察研修を行いました。

※ 教わったポイント！

- ・地域の特性を生かした計画をつくる、出来ない計画は立てない。
- ・山崎准教授からのアドバイスは、先ずは自らが楽しむこと、気軽にやっ払いこうということ。そして続けていくこと。

2013-11-8 ワークショップ 第1回

会場: 浅水ふれあいセンターで開催



2013-11-15 ワークショップ 第2回

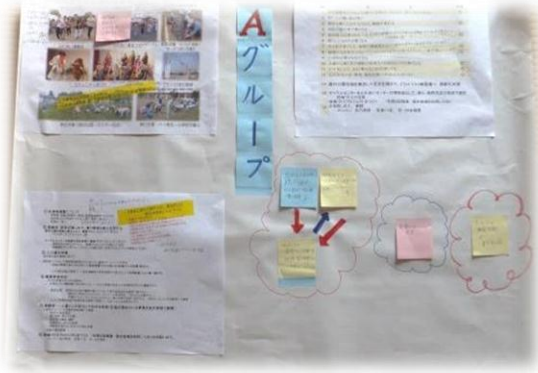
会場: 浅水ふれあいセンターで開催



ワークショップ等『地域づくり計画』検討に参加した委員
(コミュニティ運営協議会委員・各行政区選出委員)

行政区	区 長	委 員		
川面区	橘 紀夫	橘 宏子	川久保 利枝	
新小路区	小野寺 則男	小野寺 静夫	小野寺 節代	草野 成子
新田区	小野 史郎	羽生 博行	千葉 晃	千葉 至誠
		和泉 孝志	小野寺 圭一	和泉 稲子
小島区	山内 正興	佐々木 美喜子		
浅部区	高橋 敏允	二階堂 敏雄	芳賀 久子	
巻区	千葉 浩	羽生 進	佐藤 勤	
沼畑区	菅原 道憲	平井 利寿	渡辺 寿昭	伊藤 康正
		荒木 孝広		
長谷区	千葉 昌利	猪又 勝浩	佐藤 武彦	猪又 美智子
		佐藤 ひろみ		
舟場区	大内 直人	渡辺 昭吾		
事務局	及川 豊二	小野寺 功子	須藤 恵子	

2013-11-15 ワークショップで検討したワークシート 例



2013-11-8と11-15 ワークショップの発表から抜粋 1/2

議事録 須藤

Aグループ【二階堂敏雄さん】

◎三大事業について

- ・運動会 種目の検討とチームの統合(2~3行政区)→名称:健康まつり
- ・夏まつり シャトルバスを出す
 出店→個人で出店しても良いのでは?(農産物等) ⑥
 行政区対抗の“かかしコンテスト”
- ・コミュまつり シャトルバスを出す
 この流れで出演者は団体で出してもらう

◎アンケート課題

- ・独居老人→グループホーム化=空き家利用 *もしもBOXの設置 ③
- ・空き家→空き家バンク 生活の糧のある人に ③
- ・婚活→都市部との交流 ③
- ・研修会→横のつながり(年代別等)を考えた研修会必要

◎新事業

- ・川の清掃活動→泥んこバレー&バーベキュー等と一緒に ⑤
- ・長谷山でお花見、玉山で星を観る会等 ⑤

赤字 → 取り組むもの
○数値 → 地域づくり
テーマへ反映

Bグループ【平井利寿さん】

- ・奉仕作業は必要
- ・認知症→なかだ老健との連携必要 ④
- ・空き家→空き家バンク(ネットの活用) ③
- ・公園利用→グランドゴルフ等できるように→用具はサイクルセンターに保管 ②
- ・後継者がいない 空き家 ハクビシン等の住家対策 ③
- ・交通→住民バスのフリー区間を検討してほしい
マイクロバスではなくワゴン車にして自宅近くまで来てほしい ④

Cグループ【佐藤武彦さん】

浅水の良さに気付くためにも、他地域との交換体験を行う(1年ぐらいの長期間を生活体験する)

- 地区外から居住する方の歓迎会を行う → 2013-12-21 新田区実施 9世帯プラスへ ③
- 独居老人→ルームシェア ④

Dグループ【渡邊寿昭】

◎三大事業・・・継続

- ・運動会 運動会前後にスポーツ大会が集中するので、ふるスポは予戦を行わず順番に出場する
- ・コミュまつり 今年の時期では早いし、例年の時期では寒い
はっとできる人がいなくなってくる
- ・夏まつり 時間帯はいいが、お盆の時期が良い
- ・こいのぼり 継続で、新しいこいのぼりの募集のPR必要

◎アンケート

- ・高齢化→楽しむところがない ①
- ・後継者→政策安定していない
- ・独居老人→声がけ 気の合う人で楽しむ ①④
- ・空き家→ふれセンのHP等で紹介する ②
- ・婚活→集団見合い
- ・公園→活用法を限定しないで、フリーにしておく ①
- ・サイクルセンター→サイクルセンターとして利用するためのPR足りていないのでは
- ・見守られる人=増 見守る人=減
- ・地域づくりプロジェクト 最低年3回は必要 ⑤

Eグループ【大内会長:草野成子さん】

◎夏まつり

- ・参加者減少→シャトルバスを出す(ふれセンから遠い地区の人)
- ・ほら吹き大会!! →笑う=元気になる ⑤

◎公園

- ・ゲートボール、グランドゴルフ用具準備して貸し出しする→有料で ②
- ・幼児が遊べる遊具
- ・実のなる木を植栽する
- * 芝を植えない場合・・・野菜を植えて販売する
- ・貸畑にする→人を呼ぶ→婚活→ふれセン事業企画→玉山に施設があれば・・・

◎健康

- ・ノルディックウォーキング→サイクリングロードも活用 ③

◎高齢者

- ・独居老人用住宅 ②

10年後の課題アンケートとワークショップからの地域で取り組む事項

No	項 目	地域で 取り組む	住民アンケート ベスト12項目の対応			
			①	②	③	④
1	少子高齢化による人口減少(若者がいなくなり、老人だけになる)	○			③	④
2	若い人の働く場が無い					
3	農家を継ぐ人が少なくなり、農地が荒れる	○		②		
4	病院が縮小等で無くなる					
5	独居老人が多くなる	○		②	③	④
6	暮らしにゆとりが無くなる					
7	空き家が多くなる、地域の環境荒れる	○		②		
8	結婚する若者が少ない	○		②		
9	小学校が無くなるのでは					
10	交通が心配(車の運転が出来なくなるのとバスが無くなる)	○		②		
11	少子化により、各行事のまとまりが無くなる	○		②		
12	先祖伝来の家・農地・墓地を継いでくれる人がいない	○		②		

自分達出来る事!

①. 高齢者・若者が楽しめて、集う環境整備事業

農村公園を運動公園化することにより、健康づくり・コミュニティづくりへ繋げる。

・ゲートボール・グランドゴルフ等

ワークショップ新規提案⑤で検討

サイクルセンターを高齢化対応施設へ、健康づくり・コミュニティづくりへ活用

・事務所をカラオケルームへ 練習やコミュニティの場として活用
 ・駐輪場をゲートボール・ソフトテニス練習(雨天・冬季)やコミュニティの場として活用
 ミニデイ支援隊 → 行政区ミニデイの内容検討や指導を地域として進める

仮称: そば工房「羽生結弦の里」

②. 人口(世帯)減少対応事業

空き家の適正管理に向けて

空き家バンクとして登録斡旋事業を行うIターンに期待(ホームページを開設)

・地域の環境の良さ・畑を利用した家庭菜園づくりの楽しみ(地域の人が指導)等をPR
 ・人口減を逆転の発想へ ← 定年退職者や若者夫婦が入居することで世帯数減と人口増へ繋げる
 ふるさとづくりをホームページへ反映させる

新住民との歓迎会の開催
 独居老人住宅の検討
 婚活イベント開催

③. 健康長寿対応事業

なかだ老建とWin・Winの関係へ

大事なことは認知症にならないこと ← なかだ老建の先生による健康づくり講座(お話やポイント等)を行う。

・優良企業 現状約300名の職員が働いている、今後の地域住民の雇用へ繋げたい…。
 優先的に声をかけていただく、シルバー人材を経由して浅水の人を優先で…。
 老健の“暮らし”は「ふれセンだより」と一緒に区長が地域へ配布する。 有料で、コミュニティの活動費へも貢献
 ・なかだ老健を地域や地域住民の家族で理解して、お互いの心の負担をなくす。

ルデッキウォーキング等でサイクリングロード活用

④. 高齢者・一人暮らし、でも安心して住める事業

・小地域ネットワーク活動を地域活動として推進 → 別紙で補足説明(社会福祉協議会と共催)

・見守り・安否確認
 ・話し相手・声かけ活動
 ・緊急時の連絡・通報(全戸へ配布)

空き家を利用してグループホーム・ルームシェア
 婚活 都市部との交流
 ワゴン車で自宅まで送迎対応地域タクシー
 声掛けや気の合う人で楽しむ

⑤. 地域づくりプロジェクト事業(継続発展)P・D・C・A

・年間4回程度 浅水地域を如何して行くかと計画の進捗を話し合う。
 ・メンバー: 各行政区 区長+2名 計 30名程度(区長推薦で選出)

川の清掃
 長谷山 さくらの花見会
 玉山で星を観る会
 ほら吹き大会
 泥んこバレーボール大会

⑥. 継続活動・事業 ワークショップで決定

コミュニティ3大事業(ふれあい運動会・ふれあい夏まつり・コミュニティまつり)

地域自主防災連絡協議会事業
 地域防犯パトロール事業
 奉仕作業(農村公園・センター周辺)
 こいのぼり掲揚
 小学校への奉仕作業(六十寿会と児童)
 地域団体への支援対応

第2章 浅水地区の課題と『地域づくり計画』

健康長寿対応 → 健康づくり講座『認知症にならない！』

例 昨日何を食べたかわからないのは老化による物忘れ！

食べたことを忘れるのは認知症！

目指す所： 認知症になっても安心して暮らせる地域づくり



1月9日 各行政区より5名以上で計画したところ、53名が参加して頂きました。

講師先生は「グループホームあさみず佐々木真弓先生」と「老健なかだ理学療法士津田麻衣子先生」により講座を開催いたしました。

目的は地域づくり計画策定で行う事業を地域の人に理解して頂くことで行いました。

例 独居世帯対応 → 地域コミュニティによる支えあい！

浅水地域全体として運動を展開し、**行政区・班・隣近所単位**の『**地域コミュニティ力**で対応』



地域住民アンケートとワークショップからの課題に対応し、**地域でやれること**を行います。

スローガン『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり!』を目指します。

①高齢者・若者が集い・楽しめる、環境整備事業

大事なことは、家に引きこもってはいけない『何かしないと自分がダメになる!』ことから、人と接するためには、集う環境が必要であり、集まることにより『健康づくり・コミュニティづくり』へ繋げることが出来ます。



人が集って楽しめる場を整備する第一ステップとして次の活動を行います。

・農村公園を運動公園化へ【事業年度 平成27年度～】

平成26年度には農村公園の花壇を撤去して芝生を区長さん方の奉仕作業で行い、運動公園化をいたします。

芝生が伸びて実際使用できるのは平成27年度となります。活用方法はグランドゴルフ・ペタンク・ゲートボール等小学生から高齢者の方々が気軽に活用出来る様にいたします。



・ふれあいセンター周辺に高齢化対応施設設置へ

『健康づくり・コミュニティづくりへ繋げる』集って楽しめる場にする為に整備する第一ステップとして次の活動を行います。

空き室を活用してカラオケルームへ【事業年度 平成27年度～】

通信カラオケを設置して、これからの高齢化を考慮して、色々な年齢層が楽しめる場とします。

新曲にも対応できることで、楽しく・長く続けて活用できる様にいたします。(利用料金は電気料等の実費)

空き室の活用について【事業年度 平成27年度～】

そば打ち教室に活用いたします。現在、浅水ふれあいセンターのそば打ち教室は会員25名で活動しており、会員皆様の希望もあり『そば工房』として地域活性化に繋げる予定です。

テーブルや用具を準備しておき何時でも活用できる環境にして、ミニデイ等への支援も行う予定です。

・サイクリングロードの活用【事業年度 平成29年度～】

現在ノルディックウォークが一般に浸透してきておりますが、これを浅水地域で行い健康づくりへ繋がめます。

年数回のイベントを開催して多くの方に参加して頂くなど、プロジェクトメンバーで検討していきます。

・老人会支援事業【事業年度 平成27年度～】

浅水地区の老人会は4行政区が解散し、他の行政区も献身的な会長等により、何とか活動している状況であり、今後更なる高齢化に対応できないことが懸念されます。

登米市から老人会への助成金は浅水コミュニティ運営協議会で一括して対応を行うことで、全行政区が老人会を組織することで地域でのコミュニティ活動へ繋がります。

解散した行政区の老人会再組織化は区長が担当いたします。



②人口（世帯）減少対応事業

世帯減少が続けば地域が大きく衰退して行くし、道路や排水路等の地域環境も荒れしていきます。

又、空き家は1年間人が住まないとなると獣の住み家となり、地域の居住環境は悪くなる事から、世帯減少の対応を行うことで元気な浅水地域を目指します。

・空き家の適正管理 【事業年度 平成27年度～】

行政区区長やプロジェクトメンバーで独居老人世帯の現状調査と意識調査を行います。

①意識調査は家や土地をどのようにして行きますか？

②誰かに売却してもよいという場合は、『固定資産税評価額 ×〇〇倍』の目安を設定

③長期的に貸与する（10年～20年）とか借りる人の立場を考慮

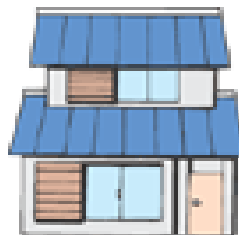
④子どもが戻ってくるからそれまでは維持管理を委託したい等の意識調査結果により、長期的な条件で住む人を募集いたします。

募集方法は地域から都会に行っている人（Uタウン）対象の方やインターネット等で募集し移住（Iタウン）対象の方より、応募があった場合に地域に住む条件に合致しているかの審査をして判断いたします。

手続き支援は事務局や地域づくりプロジェクトで検討してまいります。

又、インターネットを活用して『浅水に住みたいと思える、地域の良さ』を伝えま

す。



例として浅水の特徴である環境の良さや①仙台まで1時間で通勤可能（三陸自動車道登米IC）であることや、②自分で野菜を作る楽しみ（地域コミュニティが指導）があります等をプロジェクトメンバーで検討して発信します。

・ホームページの開設【事業年度 平成26年度～】

とめ市民活動プラザの支援で事務局が開設をいたします。

ホームページは地域への情報提示ツールとして活用していきます。（ふれあいセンターだより・地域情報・イベント情報・施設の空き情報・郷土芸能の動画・三大まつり情報、空き家情報等）を行います。



③健康長寿対応事業

高齢化は、加速して超高齢化時代となりますが、意識や記憶が無く、寝たきりの「長生き」ではなく、『健康で長寿』で生活できる地域づくりを行います。

・地域全体で健康づくり講座【事業年度 平成26年度～】

健康づくり講座を開催して、健康長寿の浅水を目指します。

健康づくり講座の講師は「老健なかだ」にお願いして年2回開催し、行政区からの参加人数を住人比率で行います。この場合に老人対象の講座でなく、若い人も参加して知識を習得して地域全体で長寿を目指します。



スタートは認知症で行いますが、地域の方々への周知が行われた時点で、その後の講座内容を地域づくりプロジェクトで検討してより良い講座の設定を行います。

・仕事のあっせん【事業年度 平成26年度～】

「老健なかだ」で人材が必要となった場合に優先的に浅水地域の人に仕事のあっせんをしていただきます。

窓口は事務局で行い、各行政区区長と調整を行います。又、老健なかだの募集チラシ等は登米市の文書配布と一緒にを行います。

④高齢者が一人暮らしでも安心して住める事業

独居老人世帯が増加することが見込まれますが、私たち浅水地域はコミュニティを基本として、40年以上活動しており、これが私達浅水地域の特徴で地域内外からも認められておりますが、独居老人が一人で生活する不安や不便が体の不自由さに伴い生じてきます。

浅水地域はこのコミュニティを基本として浅水独自に隣近所や班単位の小コミュニティが機能した活動を行い、これを地域全体での運動として行い『高齢者が一人暮らしでも安心して住める』地域にしていきます。

この運動は地域全体の活動として、地域コミュニティで実施いたします。

指導担当は区長・事務局でおこない、広報活動は事務局が担当して行い、行われているかは行政区の区長やプロジェクトメンバーがチェックをして改善していきます。



大事ことは実態把握を行うことで、行政区の実態把握を区長やプロジェクトメンバーで年2回行いこととします。

・話し相手・声かけ活動【事業年度 平成26年度～】

人は話をすることで、安心して生活することが出来ることから、気軽に話しかける声かけ運動を進めます。

・見守り・安否確認【事業年度 平成26年度～】

独居老人が異常なく生活しているか！

例として、元気な時は朝に黄色いハンカチ（旗）を掲げて近所の人に、今日も元気ですと合図を送る事で安否の確認が出来ることから、これを運動として行います。



・緊急時の連絡・通報カードの全戸配布【事業年度 平成26年度～】

事務局で作成し、啓蒙用パンフレットも作成して実行活用を目指します。

・見守りボランティア活動【事業年度 平成29年度～】

行政区で見守りボランティアを登録して独居老人世帯の見守り活動を行います。

・高齢者をワゴン車で自宅送迎対応（有料）事業年度 平成29年度～】

コミュニティで車と運転手を準備して、病院・スーパー等への送迎を行います。

⑤地域づくりプロジェクト事業【事業年度 平成26年度～】

第3章で説明いたします。

『地域づくり計画』 5ヶ年計画

計画 ○
実施 ◎ 未実施×

区分	内 容	事 業	平成26 年度	平成27 年度	平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度
新規	地域の人が集う (楽しめる)	①.高齢者・若者が集い・楽しめる、環境整備事業					
		・カラオケ室 (空き室活用)		○	○	○	○
		・そば打ち室 仮称:羽生結弦の里(空き室活用)		○	○	○	○
		・グラントゴルフ練習場 (農村公園活用)		○	○	○	○
		・ノルディックウォーク健康 (サイクリングロード活用)				○	○
		・老人会への支援 例.全行政区老人会組織化		○	○	○	○
	生活環境荒廃防止	②.人口(世帯)減少対応事業					
		・空き家の適正管理		○	○	○	○
		・行政区単位調査 (独居世帯・空き家)	○	○	○	○	○
		意識調査と対応策	○	○	○	○	○
		・ホームページの開設 (浅水の良さをPR)	○	○	○	○	○
		・婚活対応 支援対応			○	○	○
	健康長寿対応・地域企業 とのWin・Winな関係へ	③.健康長寿対応事業					
		・健康づくり講座 2回/年	○	○	○	○	○
		・仕事の地域優先であつせん 随時	○	○	○	○	○
	安心して住める地域へ 浅水地域独自活動	④.高齢者が一人暮らしでも安心して住める事業					
		・話し相手・声かけ活動	○	○	○	○	○
		・見守り・安否確認	○	○	○	○	○
		・緊急時の連絡・通報カード全戸配布	○	○	○	○	○
		・見守りボランティア活動				○	○
	・高齢者をワゴン車で自宅送迎対応 有料				○	○	
魅力ある地域へ	⑤.地域づくりプロジェクト事業(継続発展) PDCA						
	・年3回開催 計画に対して進捗と課題整理	○	○	○	○	○	
継続	地域活性化・コミュニティづくり (地域連帯感を高める)	ふれあい運動会	○	○	○	○	○
		ふれあい夏まつり	○	○	○	○	○
		コミュニティまつり	○	○	○	○	○
		こいのぼり掲揚	○	○	○	○	○
		小学校への奉仕作業(六十寿会と児童)	○	○	○	○	○
	安心・安全な地域へ	地域自主防災連絡協議会事業	○	○	○	○	○
		・年1回開催	○	○	○	○	○
		地域防犯パトロール事業	○	○	○	○	○
		・登米市文書配布時に全戸パトロール	○	○	○	○	○

第3章 浅水『地域づくりプロジェクト』の推進

地域づくり計画策定を行いました。現在想定したものと年月が経過することで環境が変わっていくことが懸念されます。これらの変化する課題に対応して地域でやれることを行います。行政区から選出の下記委員により、プロジェクト活動は年3回程度といたします。

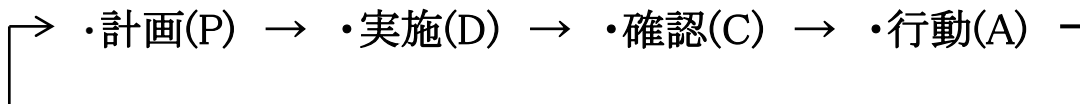
行政区	区 長	委 員	
川面区	橋 紀夫	三浦 健夫	三浦 啓禎
		伊藤 政則	
新小路区	小野寺 則男	小野寺 静夫	小野寺 久
新田区	小野 史郎	羽生 博行	千葉 治
		和泉 孝志	小野寺 圭一
小島区	山内 正興	須藤 幸治	佐々木美喜子
浅部区	高橋 敏允	二階堂 敏雄	芳賀 久子
巻区	千葉 浩	羽生 進	佐藤 勤
		小野寺 義則	大山 高毅
沼畑区	菅原 道憲	渡辺 寿昭	伊藤 康正
長谷区	千葉 昌利	佐藤 武彦	及川 八重子
		猪又 美智子	
舟場区	大内 直人	渡辺 昭吾	目黒 久夫
事務局	及川 豊二	小野寺 功子	須藤 恵子

37

10

27

管理のサイクル(P・D・C・A)を廻す。



第4章 これからも継続する事業

地域連帯感を高める事業&生涯学習事業 1/4



奉仕作業 六十寿会・小学校児童と



こいのぼり掲揚



自然体験交流(冬) 登米市では体験できない雪を求めて！秋田県横手市増田町へ
漫画ロード 矢口孝雄(釣りキチ三平)と石ノ森章太郎(仮面ライダー)の繋がり



自然体験交流(夏) 横手市では体験できない北上川のボート体験！ 登米市中田町へ
漫画ロード 矢口孝雄(釣りキチ三平)と石ノ森章太郎(仮面ライダー)の繋がり



子育て教室(出前講座)



子どもクッキング教室



文化財保存会 探訪



男の料理教室



絵手紙教室



蕎麦打ち教室(初級)&(中級)



女性講座



六十寿会 移動研修



コミュニティ移動研修



女性部・交通安全母の会移動研修

地域連帯感を高める事業 & 生涯学習事業 4/4



子ども茶道教室



蘭展(夢メッセ)研修



しめ縄づくり教室(子ども)



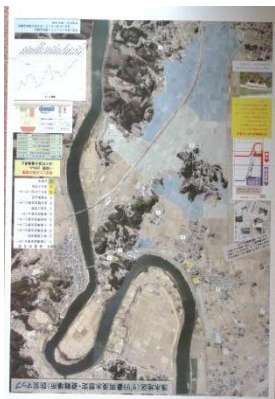
親子ふれあい教室



奉仕作業(農村公園・センター周辺)



地元プロ職人による 障子貼り教室



光明寺との災害時に避難所として活用の契約締結式



避難所案内表示板を設置

地区(ゲリラ豪雨浸水想定・避難場所)防災マップを 全戸配布!
自主防災連絡協議会事業

社会体育事業



ふるさとスポーツ大会(バレーホール・ソフトボール)



ソフトテニス大会(ナイター)雨天時は卓球大会



ターゲットバード・ゴルフ大会(ナイター)



シニアスポーツ大会(グランドゴルフ・ペタンク)

グランドゴルフ大会(ナイター)



冬季スポーツ ユニカール大会・卓球大会(ニュースポーツ)

第5章 まとめ

地域づくり計画策定については、これから10年先の課題を意識しての事業と事業推進にあたっての優先度や、事業活動の推進についても検討を加えました。

今後は、この『浅水 地域づくり計画』に基づき、浅水地区民を主体とした活動展開を行政・関係諸機関の指導、協力のもとに、実現可能な事業から取り組みを行います。

浅水地域の特性は「北上川・文化財が多い地域・献上米の里・三陸自動車道登米ICがある・人柄の良い地域」を生かし、更に、なによりも全国に誇れる「モデルコミュニティ」を40年以上経過しても、活発に活動している地域力があります。

今回の計画を基に、地域住民の総意、総力を結集して

『安心して暮らせる 元気なふるさとづくり!』を実現したいと考えます。

ここに、『浅水 地域づくり計画策定』にあたり、ご協力いただきました地域の住民各位、ご指導いただきました企画部市民活動支援課担当の方々、とめ市民活動プラザ担当の方々、登米市中田総合支所市民課の方々、先進地新潟県柏崎市の先輩各位、そして岐阜大学山崎准教授様のおかげで、このような、立派なプランを作成できました。厚くお礼を申し上げます。

更に、「ワークショップ」等で参画していただきました委員の方々に対して、厚くお礼を申し上げ「まとめ」といたします。



平成26年2月 浅水コミュニティ運営協議会 会長 大内 直人



自治大臣表彰(昭和52年)



宮城県知事表彰(昭和52年)

地域づくり計画策定 事務局 (企画・推進)

浅水ふれあいセンター センター長 及川 豊二



浅水玉山から登米市中央部を望む
(写真は三陸自動車道登米IC)

浅水の良さ
献上米の里(美味しいお米)
文化財・民族芸能が多く今も伝承
川・山・田んぼ 自然環境が良い
人柄が良い地域